

APRESIA Systemsスイッチングハブ

Apresia3424シリーズ

Apresia3424GT-SS2

保守マニュアル

**APRESIA Systems 株式会社**

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2020年9月1日	新規作成

## 安全にお取り扱いいただくために



### 安全に関する共通的な注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、本書内の指示、手順に従って行ってください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は必ず守ってください。  
これを怠ると、人身上の傷害や機器又は装置の破損を引き起こす恐れがあります。
- 本書に記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
- 本装置や本書に記載されている内容について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。作業にあたっては、単に指示に従うだけでなく常に自分自身でも注意するようにしてください。
- 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって示されます。これは「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。

	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、そこに記述されている事柄が安全に関するものであることを示し、注目させる為に用いられます。
	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、そこに記述されている事柄が人身の安全と直接関係しない留意事項を示すのに用いられます。
 <b>注意</b>	軽度の傷害、あるいは本装置の重大な損傷を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
 <b>警告</b>	死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

## 目次

制定・改訂履歴表	1
1. はじめに	5
1.1 本書の位置づけ	5
1.2 輸出に関する注意	5
1.3 概略仕様	5
1.4 電源および環境条件	8
1.5 保守分界点	8
2. 障害対策	9
2.1 トラブルシュート	9
2.1.1 LEDに関する現象と対策	10
2.1.2 コンソール端末に関する現象と対策	10
2.1.3 TELNETに関する現象と対策	11
2.1.4 SNMP マネージャに関する現象と対策	12
2.1.5 スイッチ機能に関する現象と対策	13
2.1.6 その他の障害	13
2.1.7 Apresia3424GT-SS2 データ採取シート	14
2.1.8 ログ、設定情報の採取方法	16
2.2 障害対策関連情報	17
2.2.1 システム構成の入手	17
2.2.2 環境確認	17
2.2.3 設置条件確認	17
2.2.4 使用上の注意事項	19
3. 装置交換手順	20
4. 定期点検	21
5. 保守関連情報	21
6. 付録資料	24
6.1 はじめに	24
6.2 ソフトウェアの入手方法	24
6.3 ソフトウェアダウンロード作業時の注意事項	24
6.3.1 ソフトウェアのファイルサイズ	24
6.3.2 ソフトウェアのダウンロード経路	25
6.4 本ソフトウェアのダウンロード方法	25
6.5 ダウンロードしたソフトウェアの確認方法	27
7. 付録資料2	28
7.1 はじめに	28
7.2 SDメモリーカード作成に必要な物	28
7.3 作業時の注意事項	28
7.4 SDメモリーカードの作成手順例	28

7.5 作成した SD メモリーカードの確認方法..... 30

# 1. はじめに

## 1.1 本書の位置づけ

本書は、表 1-1 に記載している機種について障害発生時の対処方法及び保守について解説しています。本シリーズのマニュアルは弊社のサポートサイトにてご提供しております。下記 URL からダウンロード頂けますようお願いいたします。

なお、サポートサイトのログインには、ユーザー登録が必要となります。

URL: <https://www.apresia.jp/products/support/>

表 1-1 本書適用の機種一覧

シリーズ名	品名及び型式
Apresia3424 シリーズ	Apresia3424GT-SS2

## 1.2 輸出に関する注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

## 1.3 概略仕様

Apresia3424GT-SS2 本体の仕様を表 1-2 に示します。

表 1-2 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インターフェース	ポート数	10/100Mポート : 24ポート 10/100/1000Mポート : 2ポート 1G(SFP)ポート : 2ポート
		通信モード	10/100Mポート : 10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定 (10M/100M/全二重/半二重) 10/100/1000Mポート : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定 (10M/100M/全二重/半二重) 1G(SFP)ポート : 1000BASE-X Auto-Negotiation/固定設定
		コネクタ形状	10/100Mポート : 8ピンRJ-45 10/100/1000Mポート : 8ピンRJ-45 1Gポート : SFP
2	管理ポート インターフェース	コンソール インターフェース	コネクタ形状 : D-SUB9ピン オス形状 接続 : RS232C(クロス, DTE仕様, 勘合ネジ: インチネジ #4-40)
3	アドレス登録数		MACエントリ数 : 16k個
4	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード

No.	項目		概略仕様
5	スイッチング容量		12.8Gbit/s
6	CPUメモリ容量		128Mbyte
7	VLAN機能	種類	ポート VLAN, IEEE802.1Q tag VLAN, Stacked VLAN (VMAN 及び 802.1Q in 802.1Q) Protocol VLAN
		最大VLAN数	4094
8	ジャンボフレーム		最大9044byte
9	リンクアグリゲーション機能		有(最大 14 グループ、最大 8 ポート/1 グループ)。 LACP(グループ化を動的に行なう)
10	フロー制御		IEEE802.3x、受信のみ実装
11	QoSキューレベル		最大8つのClass of Serviceをサポート
12	ネットワーク管理機能		インターネット標準MIB、ブリッジMIB、MAU MIB、RMON MIB、 RMON II MIB、RIP v2 MIB、OSPF v2 MIB、if MIB、LAG MIB、 VRRP MIB、ベンダー独自MIB
13	フィルタリング機能		MAC アドレス、送信元/宛先 IP アドレス、プロトコル、 TCP/UDP Port 番号などの条件によるフィルタリングが可能
14	帯域制御機能		制御方式 : SPQ(Strict Priority Queue) WRR(Weighted Round Robin) DRR(Deficit Round Robin)
15	マルチキャスト制御機能		IGMP-snooping、Egress-filter、MLD-snooping(ver.1)、 静的 Multicast-Filter、IGMP-snooping Immediate Leave
16	フラッディング制限機能		ブロードキャスト、マルチキャスト、宛先不明の各フレーム の最大フレームレートを制限可能(flooding limit) ブロードキャスト、マルチキャストのトラフィックを監視 し、一定量を超えた時、ログの記録、トラップ送信、フラッ ディング制限が可能(flooding control)
17	SYSLOG 機能		有
18	ポートミラーリング機能		Port Based Mirroring Condition Based Mirroring
19	冗長化機能		IEEE802.1D STP IEEE802.1w RSTP IEEE802.1S MSTP Flush-FDB (rp-g, rp-e) Port Redundant リング LAN 制御機能 : ベンダー独自 MMRP Plus VRRP
20	冷却方式		自然空冷
21	最大消費電力		AC100~120V : 20W

No.	項目	概略仕様
22	消費電力(典型値) *1)	15W (AC100V入力時)
23	外形寸法	(W)436×(D)252×(H)43.8mm
24	本体質量 *2)	4.0kg以下

\*1) 全ポート 1518Byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12Byte 通信、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

\*2) 本体のみ。トランシーバー、電源ケーブルやマウント金具などは含まず。

## 1.4 電源および環境条件

電源及び環境条件を表 1-3 に示します。

表 1-3 電源および環境条件

No.	項目	条件	備考
1	動作周囲温度	0 ~ 40℃	
2	動作周囲相対湿度	10 ~ 90%	結露なきこと
3	保存周囲温度	-20 ~ 60℃	—
4	保存周囲相対湿度	10 ~ 90%	結露なきこと
5	入力電圧範囲	AC100~120V +/-10%(50/60Hz +/-2Hz)	

## 1.5 保守分界点

スイッチングハブに接続される UTP ケーブル、セットアップ端末とその接続ケーブルはお客様設備であるため保守の対象とはなりません。これらのお客様設備とその接続箇所が保守分界点となります。ハードウェアによる保守分界点を図 1-1 に示します。

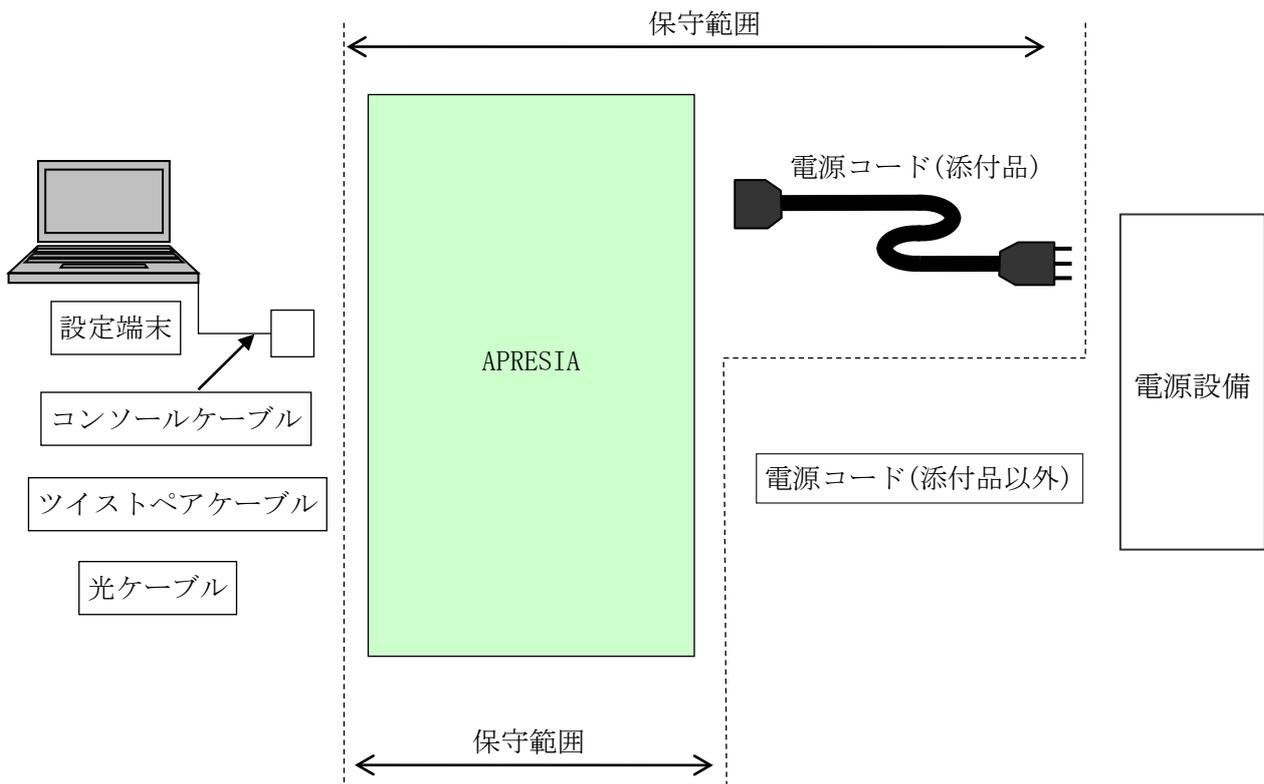
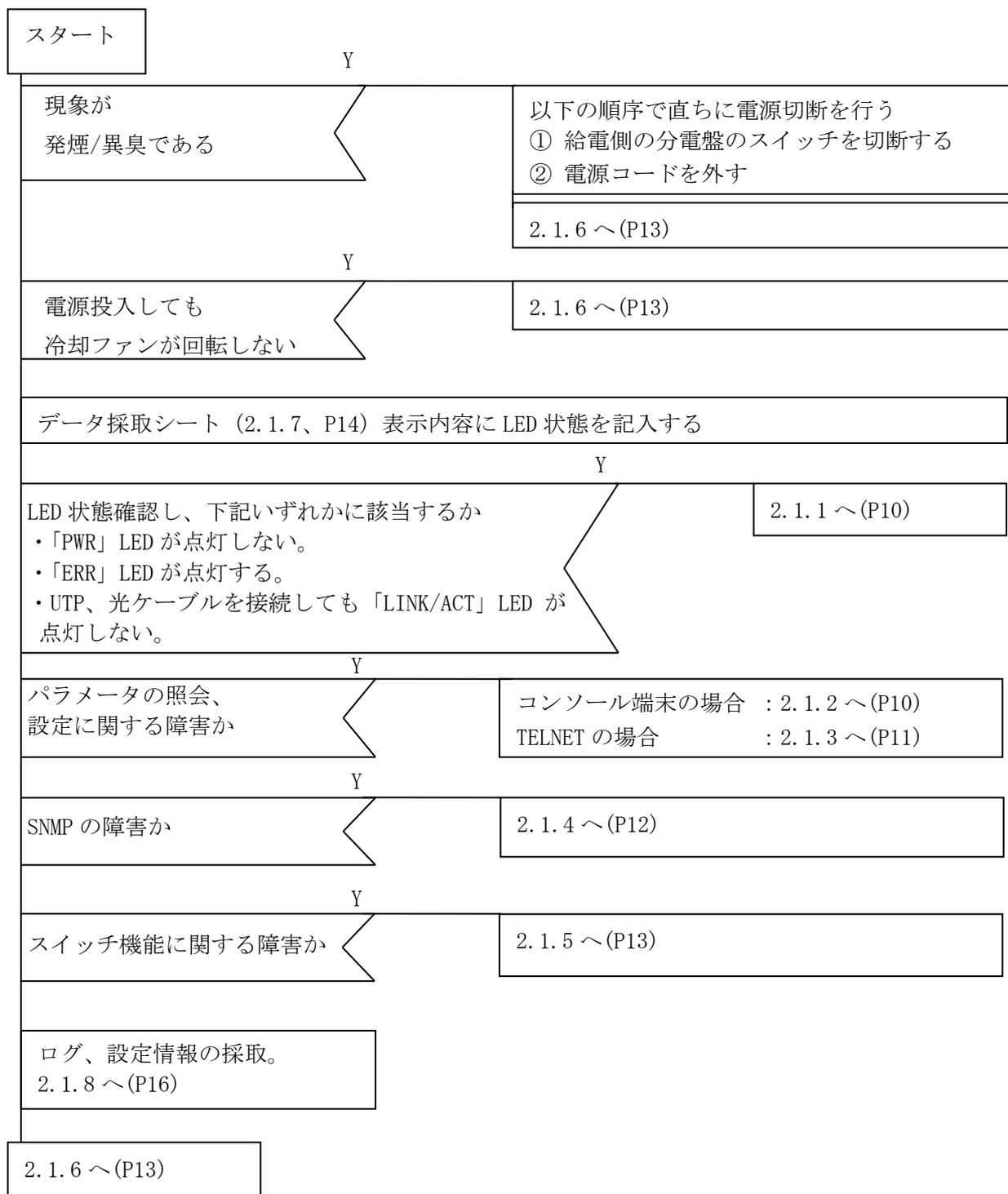


図 1-1 APRESIA シリーズスイッチングハブ保守範囲

## 2. 障害対策

本項を実施するにあたっては、あらかじめ5章保守関連情報 (P21) の保守用治工具リストにある物品を準備して下さい。また設定内容の確認等、操作の詳細は各装置のコマンドリファレンス、ハードウェアマニュアルを参照して下さい。

### 2.1 トラブルシュート



### 2.1.1 LEDに関する現象と対策

No.	現象	確認方法	判定
1	「PWR」LED が点灯しない。	(1) 電源結線の確認。 電源コードが装置の AC インレットと電源コンセントに正常に接続されているか確認。 (2) 電源電圧の確認。 ボルトメータにより電圧が仕様範囲内であるか確認。	コードを正常に接続し、電圧が規定値内で LED が点灯しない場合電源障害 2.1.6 へ(P13)
2	「ERR」LED が点灯する。	(1) ログを確認。(show logging コマンド) ログ表示できない場合、 コンソール経由：2.1.2 へ(P10) TELNET 経由：2.1.3 へ(P11)	電源障害 2.1.6 へ(P13)
3	ツイストペアケーブル・光ケーブルを接続しても「LINK/ACT」LED が点灯しない。	(1) 別の正常なツイストペアケーブルまたは光ケーブルで接続し確認。 (2) 接続相手側を別の正常な機器で確認。 (3) Apresia3424 シリーズの自動 MDI-X 認識機能が ON 及び自動認識機能(auto-nego)が ON であることを確認。(show interface status コマンド) (4) ツイストペアケーブルがエンハンストカテゴリ 5 であることを確認。(ただし相手側端末が 10Mbit/s 仕様の場合を除く) (5) ポートの設定が、Disable になっていないか確認。(show interface status コマンド)	左記を実施し機材、設定などに問題ない場合装置の障害 2.1.6 へ(P13)

注) 設定内容の確認コマンドはコマンドライン方式による。

### 2.1.2 コンソール端末に関する現象と対策

No.	現象	確認方法	判定
1	電源投入しても Login プロンプトが出力されない。	(1) コンソール端末の設定が正しいことを確認。正しい設定値は「通信速度 9600bps、1 キャラクタ 8 ビット、ストップビット 1 ビット、パリティなし、フロー制御なし、RS、ER は常時 ON」。 (2) ケーブル、ピンの仕様を確認。(5 章参照、P21) (3) PWR LED が点灯、ERR LED が消灯していることを確認。 (4) コンソールポートを実装した別の正常な機器に接続し現象が再現するか確認。	左記を実施し問題ない場合、装置の障害 2.1.6 へ(P13) 別の機器で同様の現象が再現した場合、端末設定の異常
2	設定値が正常に 入力されない。	(1) 入力した文字列が正常であるか確認。	正常な場合、装置の 障害 2.1.6 へ(P13)

### 2.1.3 TELNET に関する現象と対策

No.	現象	確認方法	判定
1	端末から TELNET によりログインすることができない。	<p>(1)装置の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの設定が正常であることを確認。(show ip address、show ip route コマンド)</p> <p>また設定後にリセットもしくは電源再投入が実行されていることを確認。</p> <p>(2)接続しているポートの通信設定が Enable 状態になっていることを確認。(show interface status コマンド)</p> <p>(3)TELNET しようとするアドレスが装置のアドレスであることを確認。</p> <p>(4)装置が正常に起動し、動作していることを確認。</p> <p>(5)装置にコンソール経由でログインし、コマンド入力/実行中画面もしくは“Already login”と表示されるか確認。(表示されれば正常)</p>	<p>左記を確認し設定、状態など問題ない場合、装置の障害</p> <p>2.1.6 へ(P13)</p>

注) 設定内容の確認コマンドはコマンドライン方式による。

#### 2.1.4 SNMP マネージャに関する現象と対策

No.	現象	確認方法	判定
1	SNMP マネージャから装置へアクセスできない。	<p>(1)装置の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの設定が正常であることを確認。(show ip address、show ip route コマンド)</p> <p>また設定後にリセットもしくは電源再投入が実行されていることを確認</p> <p>(2)装置の SNMP 設定が Enable であることを確認。(show snmp-server コマンド)</p> <p>(3)SNMP マネージャと装置の所属するコミュニティ名称が同一であることを確認。(show snmp-server コマンド)</p>	<p>左記確認し設定に問題ない場合、装置の障害</p> <p>2.1.6 へ(P13)</p> <p>(設定情報確認できない場合</p> <p>コンソール経由： 2.1.2(P10)</p> <p>TELNET 経由： 2.1.3(P11))</p>
2	SNMP マネージャがトラップを受信しない。	<p>(1)トラップ送信先の IP アドレスが正常に装置に設定されていることを確認。(show snmp-server コマンド)</p>	<p>正常に設定されている場合、装置の障害</p> <p>2.1.6 へ(P13)</p> <p>(設定情報確認できない場合</p> <p>コンソール経由： 2.1.2(P10)</p> <p>TELNET 経由： 2.1.3(P11))</p>

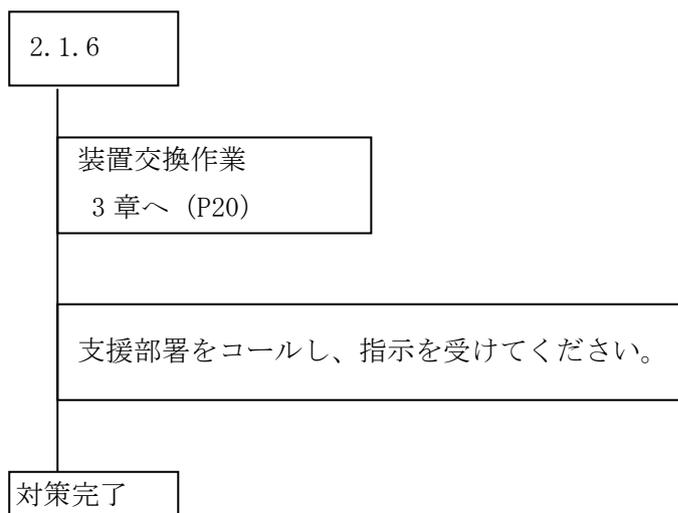
注) 設定内容の確認コマンドはコマンドライン方式による。

### 2.1.5 スイッチ機能に関する現象と対策

No.	現象	確認方法	判定
1	端末から別の端末にデータの中継ができない。	(1)各端末が別々のポート VLAN グループに所属していないことを確認(show vlan コマンド) (2)各端末と装置間のケーブルの接続が正常であることを確認 (3)各端末の接続されているポートが Enable 状態であることを確認(show interface status コマンド)	左記確認し設定状態など問題ない場合、装置の障害 2.1.6 へ(P13)  (設定情報確認できない場合 コンソール経由： 2.1.2(P10) TELNET 経由： 2.1.3(P11))

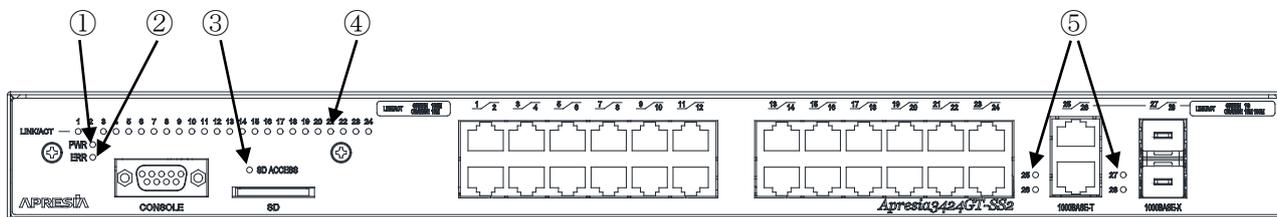
注) 設定内容の確認コマンドはコマンドライン方式による。

### 2.1.6 その他の障害



## 2.1.7 Apresia3424GT-SS2 データ採取シート

点灯しているLEDをチェックし、該当している状態に「レ」を記入する。ただし、レビジョンによって外観が多少異なる場合があります。



### ・パワーLED (①、②、③)

番号	LED	状 態	色
①	PWR	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯	緑
②	ERR	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯	赤
③	SD ACCESS	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯	緑

### ・10/100M ポート LED (④)

ポート No.	④ (「ポート No.」)	
	状 態	色
1	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
2	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
3	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
4	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
5	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
6	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
7	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
8	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
9	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
10	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
11	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
12	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
13	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
14	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
15	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
16	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
17	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
18	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙
19	<input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 <input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 橙

20	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
21	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
22	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
23	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
24	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙

・1GポートLED (⑤)

ポート	⑤ (「ポート No.」)				
No.	状 態			色	
25	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
26	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
27	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙
28	<input type="checkbox"/> 点灯	<input type="checkbox"/> 消灯	<input type="checkbox"/> 点滅	<input type="checkbox"/> 緑	<input type="checkbox"/> 橙

その他

## 2.1.8 ログ、設定情報の採取方法

### (1) ログの採取

#### (a) ログを表示

システムログの表示方法はコマンドリファレンスを参照下さい。(show logging コマンド)

ログが表示できない場合は、コンソール端末経由：2.1.2 へ(P10)、TELNET 経由：2.1.3 へ(P11)

#### (b) ログの保存

表示されたログは、コピーしてパソコンのメモ帳等に貼り付け、保存して下さい。

### (2) 設定情報の取得

設定情報の取得は、各装置の取扱説明書を参照下さい。(copy startup-config tftp コマンド)

ログインできない場合は、コンソール端末経由：2.1.2 へ(P10)、TELNET 経由：2.1.3 へ(P11)

## 2.2 障害対策関連情報

### 2.2.1 システム構成の入手

#### (1) システム構成の入手

障害対策のため最新のシステム構成図と関連する情報 (IP アドレスや設定内容) を入手して下さい。

#### (2) システム変更の有無

お客様にシステム構成や設定内容の変更がなかったか、変更後の運用実績の有無や運用実績の内容 (実績期間や業務内容) などを確認して下さい。変更があった場合は、変更内容についての情報を入手して下さい。

### 2.2.2 環境確認

#### (1) 周囲温度 : 0°C~40°C

#### (2) 湿度 : 10%~90% 筐体および周辺の結露目視チェック。

#### (3) 振動 : 筐体および周辺の振動有無の確認

#### (4) 直射日光が当たらないか。

#### (5) 温湿度変化が激しくないか。

#### (6) 電氣的ノイズを発生する機器が近くにないか。

#### (7) 強電界を発生する機器が近くにないか。

#### (8) ゴミ、ほこりの多い場所ではないか。

### 2.2.3 設置条件確認

Aprasia3424GT-SS2 の機能を損なうことなく、長くご愛用いただくためには適正な環境と取り扱いが必要です。安全に関するご注意に記載されている場所に設置することは、装置の寿命を縮めたり、故障の原因となりますので避けてください。

Aprasia3424GT-SS2 を設置する時には操作性、安全性を十分考慮し、特に装置内部の冷却のための通風を阻害しないようにして下さい。

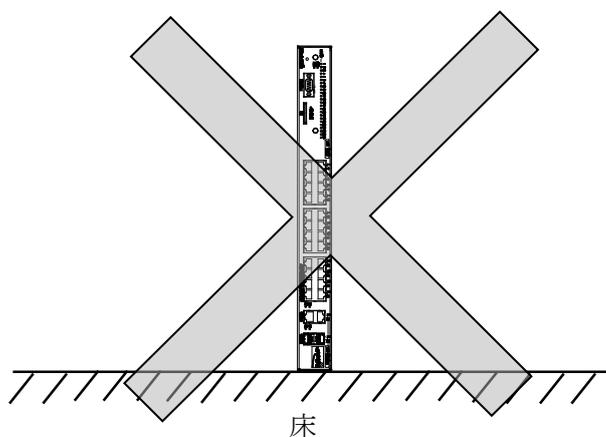


図 2-1 悪い設置例

- (1) Apresia3424GT-SS2 をラックに取り付け、または横置きで使用ください。
- (2) Apresia3424GT-SS2 を直接、床などに縦置きで使用しないでください(図 2-1)。冷却のための通風を阻害し、故障の原因となります。縦置きする場合は、別売りの専用縦置き KIT とネジを使用して設置してください。
- (3) Apresia3424GT-SS2 の横に物を置かないでください。冷却のための通風を阻害し、故障の原因となります。
- (4) Apresia3424GT-SS2 の上に花瓶や飲物等を置かないでください。
- (5) Apresia3424GT-SS2 を設置する場合はフロント側 60mm、リア側 100mm 以上のスペースが必要になります。
- (6) Apresia3424GT-SS2 をラックに取り付ける場合は、奥行きが 510mm 以上(内寸)のラックに添付のラックマウント金具とネジを使用して設置してください。
- (7) Apresia3424GT-SS2 を据え置きする場合は、本体底面の 4 箇所のコーナーに添付の筐体足(ゴム足)を貼り付けてご使用ください。

#### 2.2.4 使用上の注意事項

- (1) コンソールポートには、パラメータ設定時、障害調査時のみに RS-232C ケーブルを接続し、通常の運用時には接続しないでください。
- (2) panic によるリブート発生時には、エラーメッセージの syslog サーバーへの送信、および装置内部のシステムログへの保存はされません。
- (3) panic 発生 の 要因調査のためには、予め装置にコンソール端末を接続しておき、panic 発生時のエラーメッセージ採取を行なう必要があります。
- (4) スイッチングハブのスパニングツリープロトコルが ON に設定されている場合、ハブの電源を入れてから、通常動作を開始するまで時間が掛かることがあります。これはフォワードディレイパラメータの制御によるもので異常ではありません。
- (5) ポートミラーリング機能は、プローブポートとして設定したポートで送受信されたフレーム等を解析するための機能です。従って、ミラーポートとして設定したポートには、アナライザ等ネットワークを解析する装置以外は接続しないでください。
- (6) ミラーポートに転送されるフレームは、プローブポートが送受信したフレームおよびミラーポート宛に転送されるフレームのみです。その他のフレームは転送されませんので注意してください。
- (7) ポート VLAN を設定する場合、ホスト(スイッチングハブ)が属していないグループのポートからホスト宛に通信を行なうことはできません。またホストは複数のグループに属することはできません。

### 3. 装置交換手順

Aprasia3424GT-SS2 は基本的に現地で部品を交換して作業する項目はありません。そのため障害が発生した場合は装置交換の実施となります。

装置交換手順は下記となります。

- (1) 装置交換前に、顧客のシステムが使用されていないか、再度確認する。また、システムパラメータ、ログの取得を実施する。取得方法は 2.1.8 (P19) へ
- (2) 接続ケーブルとポートとの対応が明確であり、装置交換後再度取付けができる状態であることを確認する。

#### 注意

装置交換後に配線を間違わないために、ケーブル類を外す前に接続されている状態を記録することをお勧めします。

- (3) 接続ケーブル、電源ケーブルの取外し。
- (4) 装置交換
- (5) 電源ケーブルの取付け。交換前と同じ接続状態になるように確実に取り付ける。
- (6) セットアップ端末を接続。接続方法はハードウェアマニュアルまたはコマンドリファレンスを参照下さい。
- (7) 顧客よりファームウェアバージョン確認し、必要に応じダウンロードを実施する。詳細は巻末の付録資料を参照下さい。
- (8) パラメータ設定  
あらかじめ取得していたシステムパラメータを tftp サーバーからダウンロードする。(copy tftp コマンド) ダウンロード後、フラッシュメモリに書き込む。(write memory コマンド)  
詳細はコマンドリファレンスを参照下さい。
- (9) 接続ケーブルの取付け。交換前と同じ接続状態になるように確実に取り付ける。
- (10) 履歴記録：障害および代品 Aprasia3424GT-SS2 のシリアル、MAC アドレス、配置場所、障害現象などを記録しておく。
- (11) 作業終了。データ採取シート、上記障害、交換記録を連絡して下さい。

#### 警告

電源が入っている場合は、光ポート及びそれに接続されている光ファイバー終端を直接みてはいけません。

## 4. 定期点検

本製品の定期点検項目はありません。

LED の点灯状況、ログの監視などの一般的な確認項目は、お客様のシステムオペレーションの一環として実施していただくことを基本とします。

## 5. 保守関連情報

本製品の保守に必要な治工具の一覧を表 5-1 に示します。

表 5-1 保守用治工具、他一覧

No.	機材名称	備考
1	セットアップ用端末 (パソコン)	仕様は表 5-2 参照
2	TFTP サーバソフト	付録資料参照
3	ダウンロードイメージファイル	AEOSXXXXX.img 付録資料参照
4	標準工具セット	
5	RS-232C ケーブル (クロスケーブル)	ピン仕様は 表 5-3、表 5-4、表 5-5 参照
6	対より線タップコード(クロスケーブル)	
7	ケーブルチェッカ	
8	デジタルボルトメータ	
9	Apresia3424GT-SS2 ハードウェアマニュアル	

上表機材以外でも同等の機能を有するものならば問題ありません。

表 5-2 パラメータ設定端末の条件および通信条件

### (1) パラメータ設定端末の条件

項番	項目	仕様
1	端末の設定	ANSI (VT100 互換)

## (2) 通信条件

項番	項目	仕様
1	スクリーンサイズ	80列×24行/スクリーン以上
2	キャラクタ	8bit/キャラクタ
3	ストップビット	1bit
4	パリティ	なし
5	フロー制御	なし
6	ボー・レート	9600bit/s
7	RS, ER	常時 ON とする
8	CD	監視しない
9	端末接続ケーブル	RS-232C ケーブル(クロス)、 ただし、スイッチングハブ側は DB-9 メス型コネクタを使用のこと

表 5-3 コンソールポートのピン仕様

ピン No.	信号名	信号の内容	備考
1			未接続
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4			ピン 6 に接続
5	SG	回路アース	
6			ピン 4 に接続
7			ピン 8 に接続
8			ピン 7 に接続
9			未接続

表 5-4 RS-232 ケーブル接続結線例 (9 ピン-25 ピン D-SUB の場合)

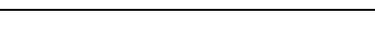
APRESIA 側コネクタ 9 ピン D-SUB(メス)	接続	パラメータ設定端末側コネクタ 25 ピン D-SUB
ピン番号		ピン番号
1		4
2		5
3		2
4		3
5		6
6		7
7		20
8		8
9		22

表 5-5 RS-232 ケーブル接続結線例 (9 ピン-9 ピン D-SUB の場合)

APRESIA 側コネクタ 9 ピン D-SUB(メス)	接続	パラメータ設定用端末コネクタ 9 ピン D-SUB
ピン番号		ピン番号
1		1
2		2
3		3
4		4
5		5
6		6
7		7
8		8
9		9

## 6. 付録資料

### 6.1 はじめに

本マニュアルは、スイッチングハブ Apresia3424GT-SS2 ソフトウェア（以下ソフトウェア）における変更点及びそのダウンロード手順について説明するものです。

### 6.2 ソフトウェアの入手方法

ソフトウェアはインターネット経由のダウンロードとなります。ファイルはCドライブ等に保存下さい。URL、アカウント、パスワードは保守契約時に連絡します。

図 6-1 では、例として AEOSXXXXX.img というファイル名を示します。

### 6.3 ソフトウェアダウンロード作業時の注意事項

#### 6.3.1 ソフトウェアのファイルサイズ

- ・確認方法：Windows を用いた場合

ファイルを格納したディレクトリに移動し、マウスを右クリックして選択後、プロパティを選択することにより確認できます（図 6-1 参照）。

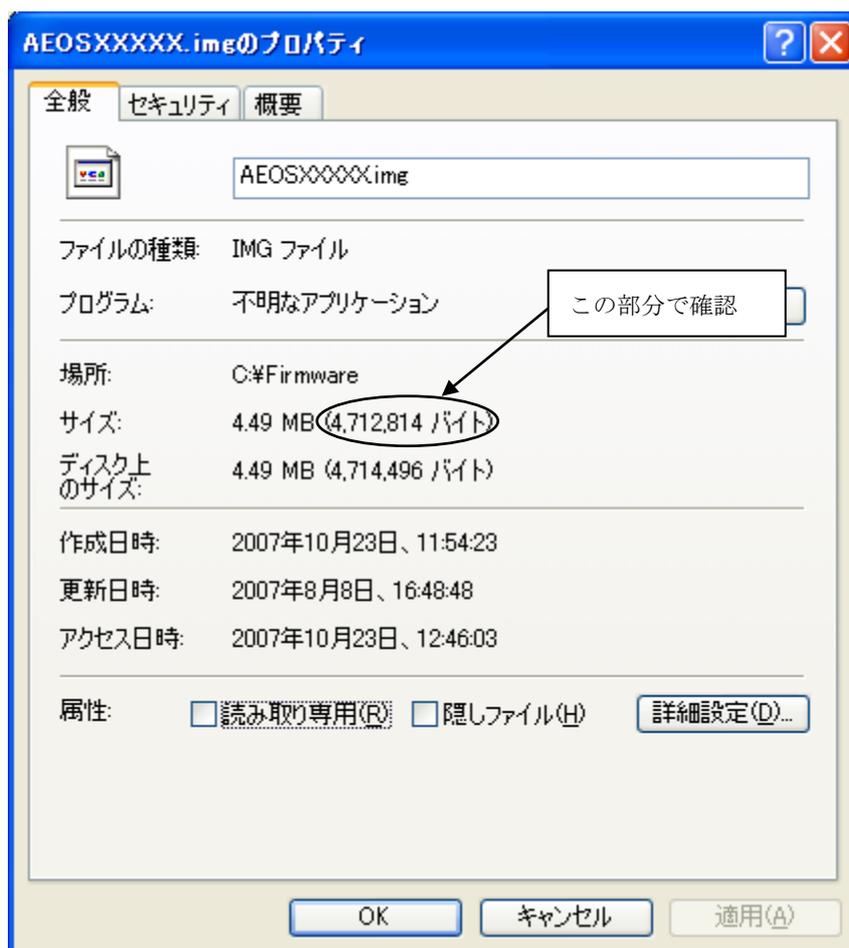


図 6-1 Windows を用いた確認方法

### 6.3.2 ソフトウェアのダウンロード経路

Telnet 経由でソフトウェアをダウンロードすると、バージョンによっては設定情報が失われる場合がありますので、ダウンロード作業する際はコンソール経由にて実施して下さい。

## 6.4 本ソフトウェアのダウンロード方法

### (1) TFTP サーバーの起動方法

TFTP サーバーを起動します。図 6-2 に 1 例としてファイル名 ‘TFTPD32.exe’ TFTP サーバーの起動画面を示します。

Base Directory には、ダウンロードファイルを格納しているディレクトリを指定します。

(図 6-2 では、例としてダウンロードファイルが C:\TEMP に格納されている場合を示します)

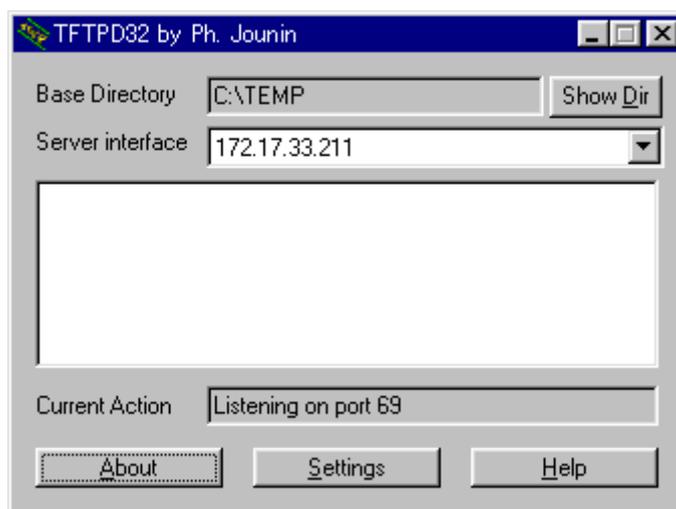


図 6-2 TFTP サーバー起動画面例

(2) 本ソフトウェアのダウンロード方法

図 6-3 にダウンロード手順を示します。下線部が入力部分となります。

```
Ethernet Switch Apresia3424GT-SS2

login : adpro
> enable
# archive download-sw tftp 172.17.33.211 AEOSXXXXX.img
  override? (y/n): y
  getting from 172.17.8.72:AEOSXXXXX.img
  Received 4712814 bytes in 8.9 seconds
  Filesize is 4712814 bytes
  Writing ... done.
*# reboot
  check config ? (y/n): y
  save running config? (y/n): y
  Current running-config is saved to flash-config.
  Writing to flash memory...
  [OK]
  Writing to SD memory...
  upload completed. (hc-flash-config)

  reboot system ? (y/n): y
  Oct 31 11:30:00<system:emerg>Rebooting
```

図 6-3 ダウンロード手順



## 7. 付録資料 2

### 7.1 はじめに

本マニュアルは、スイッチングハブ Apresia3424GT-SS2 における、運用、保守に使用する SD メモリーカード作成手順例について説明するものです。詳細は AEOS Ver. 7.XX コマンドリファレンスを参照ください。

### 7.2 SD メモリーカード作成に必要な物

SD メモリーカード作成には、下記が必要です。

- ・Apresia3424GT-SS2 本体
- ・SD メモリーカード (推奨別売品)
- ・TFTP サーバーがインストールされているパソコン
- ・スイッチングハブ Apresia3424GT-SS2 ソフトウェア (以下ソフトウェア) ファイル

### 7.3 作業時の注意事項

作業は、運用中のネットワークから切り離された Apresia3424GT-SS2 本体とパソコンで行ってください。

### 7.4 SD メモリーカードの作成手順例

#### (1) 準備

付録資料 1 を参照し、ソフトウェアと TFTP サーバーを準備します。Apresia3424GT-SS2 本体の起動後、SD メモリーカードをスロットに挿入します。

#### (2) 作成方法

図 7-1 に、SD メモリーカードに保存されたソフトウェアと設定で起動可能な SD メモリーカードの作成手順例を示します。下線部が入力部分となります。

```
login : adpro
> enable
# configure terminal (1)
(config)#

(省略)

# write memory (2)
Current running-config is saved to flash-config.
Writing to flash memory...
[OK]
Writing to SD memory...
upload completed. (hc-flash-config)
# copy tftp 10.0.0.2 aeosR74401.img memory-card aeosR74401.img (3)
getting from 10.0.0.2:aeosR74401.img
Received 4802777 bytes in 9.9 seconds
Writing to SD-memory...
```

```

upload completed. (aeosR74401.img)
done.
# copy flash-config memory-card test (4)
upload completed. (test)
# copy default-script configure-script (5)
Writing configured-script...
done.
# boot-script system primary memory-card aeosR74401.img (6)
Writing configured-script...
done.
# boot-script configuration primary memory-card test (7)
Writing configured-script...
done.
# copy configured-script memory-card (8)
Writing memory-card...
done.
#

```

図 7-1 SD メモリーカード作成手順例

図 7-1 の各部の入力方法を以下に示します。

- (1) CONFIG モードに入り、お客様のネットワーク構成に応じて設定を行います。
- (2) 上記で作成した設定を装置内部のフラッシュメモリに書き込みます。
- (3) ダウンロード

SD メモリーカードにソフトウェアをダウンロードします。

“copy tftp 10.0.0.2 aeosR74401.img memory-card aeosR74401.img”を入力

①                      ②                      ③

- ① TFTP サーバーの IP アドレス
- ② ダウンロードするファイル名
- ③ SD メモリーカードに保存する際のファイル名

- ・ダウンロードが正常に行われた場合、“Writing memory-card... done.”が表示されます。
- ・入力パラメータが間違っていたり、相手との接続が確立できずにダウンロードに失敗していたりした場合、(3)の操作を再度行います。

- (4) (3)でフラッシュメモリに保存した設定を、SD メモリーカードにファイル名“test”としてコピーします。
- (5) 装置内部のメモリ上のブートスクリプトをデフォルトに戻します。
- (6) ブートスクリプトに、SD メモリーカード上のソフトウェア aeosR74401.img で起動するように記述します。
- (7) ブートスクリプトに、SD メモリーカード上の設定“test”で起動するように記述します。
- (8) 作成したブートスクリプトを、SD メモリーカードに保存します。

## 7.5 作成した SD メモリーカードの確認方法

SD メモリーカードが作成されたことを確認する方法を以下に示します。

```
# show boot-script memory-card
! User configuration for: HCLoader 1.11.04
configure boot primary system memory-card aeosR74401.img
configure boot primary configuration memory-card test
configure boot secondary system built-in secondary
configure boot secondary configuration built-in secondary
# show memory-card files
total 9472
----- 1 root  wheel  4802777 Jul 20 10:47 aeosR74401.img
----- 1 root  wheel      155 Jul 20 10:52 hcloader.conf
----- 1 root  wheel   1300 Jul 20 10:48 test
```

図 7-2 SD メモリーカード確認手順

図 7-2 の下線部により、ブートスクリプトが正しく保存できたことが分かります。また、show memory-card files コマンドの結果より、ソフトウェアや設定が正しく保存できたことが分かります。

SD メモリーカードから正しく起動する方法を以下に示します。

作成した SD メモリーカードを Apresia3424GT-SS2 本体に挿入した状態で起動します。起動時の画面を参照することにより、SD メモリーカードから起動していることを確認できます。図 7-3 に確認方法を示します。

```
HCBOOT

Mac address: 00:40:66:XX:XX:XX
Detect memory 128M byte
Memory address testing .... passed

HCLoader 1.11.04
open rescue configuration file
  using HCLoader configuration on SD.
Boot from sdm://aeosR74401.img
Expand system ... done.
Loading configuration ... done.

Firmware Version 7.44.01

Ethernet Switch Apresia3424GT-SS2

login:
```

図 7-3 SD メモリーカード確認手順

図 7-3 の下線部により、SD メモリーカード(“sdm”)のソフトウェア(“aeosR74401.img”)から起動したことが分かります。

装置内部のフラッシュメモリから起動した場合の表示は“Boot from flash://primary”となります。

Apresia3424GT-SS2 保守マニュアル

Copyright(c) 2020 APRESIA Systems, Ltd.

2020年9月初版

APRESIA Systems 株式会社

東京都中央区築地二丁目3番4号

築地第一長岡ビル